



しんこうかい

真光会だより

2022年11月
第32号

発行責任者
社会福祉法人真光会
理事長 佐々木 鴻文

高木保育園

今町保育園

天竜保育園

梅北保育園

朝夕めっきり冷え込みが厳しくなりました。コロナウィルス感染症も落ち着いていますが、三密を避けながらの生活が継続されています。第8波も懸念されますが、このまま終息してほしいものです。気流が安定している霧島盆地の空に熱気球が漂う季節となり、戸外遊びが存分に出来ますね。今回は、親子で遊べる遊びや子どもの肌ケアなどをお知らせします。

ヒラヒラ・ふわふわキャッチゲーム

(用意するもの)

紙風船・レジ袋・たこ糸(30~40cm)
アルミホイル・古いはがき・ゼムクリップ

(作り方)

紙風船



紙風船はしっかり膨らませる

パラシュート



たこ糸

アルミホイルの玉

レジ袋にたこ糸を結び付け、アルミホイル玉(直径3cmくらい)を張り付けます。

くるくるヘリコプター



①はがきに図のような切込みを入れて、折りま



②下側の折った部分にゼムクリップを挟みます。

(遊び方)

大人が高いところに上がり、用意した物を落とします。子どもさんは、それを下でキャッチします。



子どもの肌が荒れやすいワケ

子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥すると、そのバリア機能がどんどん失われるために、荒れていくのです。肌を保護するバリアがない状態なので、乾燥肌が進むと、あかぎれや発しんなど、さまざまな皮膚トラブルが出やすくなります。

皮膚が極度に乾燥して、潤いがなくなることで外からの刺激を受けやすくなり、割れて炎症を起こしたものがあかぎれです。基本的なケアは、ワセリンなど油分が入った保湿剤を塗り、血行をよくすることです。ただし、切れた部分から細菌感染を起こして、じくじくしてしまうことがありますので、その場合は、皮膚科を受診しましょう。抗生物質やステロイド剤で治療することもあります。痛みやかゆみを伴います、悪化する前に治療しましょう。

スキンケアの基本は、清潔と保湿

清潔と保湿が、健康な皮膚を作る基本です。外あそびや手洗いのあと保湿クリームを塗るなど、日常的なケアを心がけましょう。

また、冬でも半そでで過ごすお子さんがいますが、冬に肌を出していると、肌の状態が悪くなることがあります。

乾燥肌が気になる場合は、長そで・長ズボンを着用したほうがよいでしょう。



梅北保育園からのお知らせ

園庭表土入れ替えと大型遊具について

10月から11月にかけて、園庭の表土の入れ替え工事と大型遊具取り替え工事を行いました。

是非ご来園いただき、新しくなった園庭をご覧いただくと共に、大型遊具(3歳以上児用)でも遊んでみてください。

育児相談を受け付けております

困った事や聞いてほしい事などありましたら、遠慮なく下記の相談先にご連絡ください。(開所時間内)

相談先： 保育園



朝の汁物で体ポカポカ

寒くなってくると、大人も子どもさんも朝起きるのがつらくなります。

そこで、朝食にスープやおみそ汁など温かい汁物を加えてみてはいかがでしょうか。

温かい汁物は、夜の間に冷えた体を温めるのはもちろん、消化がよくておなかにやさしいというメリットも。朝の一杯で心身にエネルギーがいきわたります。

